

令和5年度地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団体名	東旭川地域まちづくり実行委員会
2 事業の名称		地域生活支え合い推進事業（包括型補助金モデル事業）
3 実施期間		令和5年5月1日 から 令和6年3月31日まで
4 事業内容		<p>(1) 出張児童館 in 東旭川</p> <p>事業名 まちを彩る「マチデコ*キッズ」in 東旭川</p> <p>目的 児童館空白地の子供を対象に、子供自身が参画した子供の居場所づくりをすることで地域住民との交流や資源発掘をはかり、子供によるまちづくりを目指す。</p> <p>内容 小学生以上の子供を対象とした「マチデコ*キッズ」を募集し、東旭川各地区で子供を対象とした講座、学習支援、就労体験等を実施する。</p> <p>結果 ①5月 謎解きラリー ②8月 水鉄砲バトル ③10月 ハロウィン ④2月 レジンキーホルダーづくり他 子供の居場所をつくりにぎわった。</p> <p>(2) 地域情報紙の発行</p> <p>地域における催し、歴史及び施設などに係る情報を収集して情報紙を発行した。</p> <p>名称 「東旭川まち協だより」No.20 ※平成27年度創刊</p> <p>規格 A3版、両面印刷、写真入り 1,800部</p> <p>配布先 地域内 約6,800世帯</p> <p>※東旭川地区の各町内会各班単位で配布 (東旭川中央、旭正、日の出倉沼、豊田、桜岡、米原瑞穂の6市民委員会の区域内)</p> <p>(3) 高齢者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立の把握・情報共有・各種対策 6市民委員会と各地区社協と各民児協が情報を共有し有機的な連携を強化する。 ・高齢者の居場所づくり 高齢者が気軽に集える場所を提供し、介護予防や健康づくりなどで交流を図る。 ・認知症の理解を深めるための啓発活動、オレンジカフェの開催 (7月と10月の2回) ・多世代交流 中学生、小学生、幼稚園児等との交流 <p>(4) 地域交通の運行</p> <p>旭正・忠別、米原・瑞穂地区では、公共交通機関が乏しいため、高齢者や交通弱者が通院や買い物などに利用する交通手段として障害福祉関連事業所の空き車両を利用した移動送迎事業を無料で実施した。9月から3月まで毎月第2、4木曜日 合計11回。</p> <p>(5) 4年ぶりの地域イベント東旭川雪まつりで餅つきを実施、子供たちをはじめとする参加者の多くにも体験していただき出来上がった餅を調理してふるまい大好評に終了した。</p> <p>(6) その他地域まちづくりに係る事業 (プライドプロジェクト)</p> <p>地元に愛着とプライドを持ち、大人になって地元に戻りたいと思える魅力ある地域にしたい思いで事業を行った。旭川小児童が親子で工業団地の工場を見学。旭川中の生徒はパラスポーツの講演を聴き、車いすバスケを体験した。また、旭川中生徒は地元の良さを発見するために自ら取材し作成したQRコード入り(動画)の「東旭川魅力発見マップ」を作成し東旭川地区の町内会に配布した。</p>

5 成果と課題

- | | |
|--|--|
| | <p>(1) 出張児童館 in 東旭川
成果 4年継続したことにより、事業が定着しリピーターが増えってきた。
課題 さらに利用者を増やし、地域内に児童館の建設を目指すこと</p> <p>(2) 地域情報紙の発行
成果 情報紙を回覧することで、地域住民の郷土意識の更なる醸成に貢献した。
課題 頻度が低いため、情報が古いなどの批判もあり、発行回数の増加が課題。</p> <p>(3) 高齢者支援
①高齢者孤立の把握・情報共有・各種対策
成果 中央地区では情報共有が困難なことが分かったが、団体間の連携が深まった。
日の出倉沼地区では、緊急連絡網が完成し、次の課題、地域交通へ着眼点が変わりつつある。
課題 高齢化の進展で担い手の確保がむずかしくなってきている。
②高齢者の居場所づくり
・成果 東旭川地区で初めてオレンジカフェが7, 10月に2回開催された。
高齢者の外出の機会や新たなつながりによる更なる交流促進につながった。
・課題 コロナ対策のため引き続き外出の機会や参加人数に制限を設ける必要があった。</p> <p>(4) 地域交通の運行
・成果 旭正地区で9月から月2回(第2、第4木曜日)無料の送迎サービスを開始した。
障害福祉関連事業所の空き車両を利用することで移動送迎事業を無料で実施してきた。
・課題 東旭川は広大。点在する人々を移送する効率的方法を確立する創意工夫が必要。</p> <p>(5) 地域グルメ事業
成果 4年ぶりの地域イベント東旭川雪まつりで餅つきを実施、子供たちをはじめとする参加者の多くにも体験していただき出来上がった餅を調理してふるまい大好評に終了した。
・課題 夏に一昨年行ったミニマルシェを行ったかったが、資金面と人の配備の面で準備がかなわず、代わって冬の寒い時期にコロナで休止していた餅つきの復活という形でイベントを開催することができた。イベントは継続することに意味があるが、人と資金が不足している</p> <p>(6) その他地域まちづくりに係る事業 (プライドプロジェクトなど)
・成果 東旭川地区の魅力を再発見するきっかけとなった。
・課題 小学生や中学生などの若者だけでなく全年代に地元の魅力を知ってもらうための情報発信力を高める必要がある。</p> |
|--|--|